

9月1日、全校集会で、このような話をしました。 (テレビ放送)



おはようございます。みなさん、夏休み、どう過ごしていましたか？ 今年、オリンピックがあり、テレビで観ていた人も多いと思いますが、下野市の高藤直寿選手が、みごと、柔道で金メダルを取りましたね。これは凄いことです。この他にも、日本選手がたくさんのメダルをとり、大活躍しました。これらを観ていて、校長先生が感動したのは、絶対にあきらめないという精神力です。もう勝てっこないという絶体絶命の状況になっても、決してあきらめることなく、すごい精神力で戦い続け、やがて追いつき、追い越し、金メダル、この姿には大きな感動とともに勇気をもらいました。校長先生も、これからの人生に少しでも生かせたらと思っています。みなさんも、がんばってください。今、パラリンピックが開催されています。こちらも応援してくださいね。

さて、今日から前期の後半がスタートします。久しぶりに元気な皆さんの顔が見られて嬉しいです。しかし、心配なことがあります。テレビでも毎日やっているのですが、皆さんも知っていると思いますが、コロナ感染症がこれまで以上に大変になってしまっています。何が大変かということ、今までよりも、人にうつりやすいコロナウィルスが出てきて、小学生でも感染者が増えてしまっています。栃木県でも増えおり、今、「緊急事態宣言」というのが栃木県にも出ています。それなので、これまで以上にみんなで気を付けていかななくてはなりません。これから気を付けなくてはならないことを5つ言いますので、よく聞いてください。

- 1 マスクを正しく付ける。
- 2 マスクをはずしているときに、話をしない。
- 3 人との間をあける。
- 4 手洗い、手の消毒をよく行う。
- 5 窓を開けて、空気を入れかえる。

ここで、校長先生が作った合い言葉を発表します。

「感染予防！ これ、だいじょうぶ？」

これを、いつも頭の中に入れておいて、何かしているとき、「これ、だいじょうぶ？」あぶなくないかなあと、自分で自分に聞いてください。

保健室の利用をしばらく控えてもらいます。保健室に行くのは、けがをしたときと、担任の先生が行きなさいと言ったときだけです。気分がよくないので保健室で休むというのは、しばらくの間なしにします。

最後にもう一つ、どんなに注意していても、感染してしまうときがあります。もし、誰かが感染してしまったとき、みんなで思いやりをもって接しましょう。誰にでも、起こることです。よろしくお願いします。